

「人吉市行財政経営指針」における用語説明

掲載頁	用語名	説明
P 8	D X	デジタル・トランスフォーメーション。 I C T（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向へ変化させるという概念のこと。
P 8	テレワーク	I C T（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと。
P 8	ワークライフバランス	やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させようという考え方。仕事と生活の調和のこと。
P 8	ウェルビーイング	個人の権利や自己実現が保証され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念のこと。
P 1 0	行政サービスと公共サービス	行政サービスは、政府や地方自治体が市民に提供するサービスのこと。行政機関が市民に対して直接提供するもの。 公共サービスは、一般的に市民全体や社会全体の利益を図るために提供されるサービスのこと。公共サービスは、行政機関だけでなく、民間事業者などが提供することもある。
P 1 4	自治体D X	地方自治体がデジタル技術を活用して行政サービスや業務プロセスを革新し、市民サービスの向上や行政効率の向上を図る取組のこと。
P 1 5	B P R	ビジネス・プロセス・リエンジニアリング。 業務プロセスの抜本的な見直しや再設計を行うことを指し、従来の業務プロセスを根本から再構築し、効率化や効果的な業務遂行を図ることを目的としている。
P 1 5	窓口B P Rアドバイザー派遣事業	デジタル庁が実施している、自治体窓口D Xに精通した地方自治体職員等がアドバイザーとして、これから自治体窓口D Xを推進したい他の地方自治体をサポートすることにより、地方自治体窓口B P Rの「自走」を目的とした「きっかけづくり」のためのノウハウを提供する事業。
P 1 5	Q & A	クエッションアンドアンサー。 質問と回答をまとめたもの。
P 1 5	F A Q	フリークエントリーアードクエッションズ 頻繁に尋ねられる質問のこと。
P 1 7	A I	人工知能（アーティフィシアル・インテリジェンス）のこと。 コンピュータがデータを分析し、推論や判断、最適化提案、課題定義や解決、学習などを行う、人間の知的能力を模倣する技術のこと。
P 1 9	フレックスタイム制度	労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることによって、生活と業務との調和を図りながら効率的に働くことができる制度。
P 1 9	公民連携	ここでの公民連携とは、市民全体の利益を最大化させるため、これまでの行政主導から民間主導へ転換し、公と民が対等な立場で連携した真のパートナーシップ築き、公共サービスの質的充足を図ることをいう。
P 2 1	P P P / P F I	・ P P P（パブリック・プライベート・パートナーシップ） 公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。指定管理者制度や包括的民間委託、P F I など様々な方式がある。 ・ P F I（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ） P F I法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
P 2 3	ヒューマンエラー	人間が行う業務や活動において起こる誤りやミスのこと。